

2021年度 医療的ケア児（重心児）支援者向け講習会 お知らせ

今年度も支援者向け講習会を開催いたします。基本的には昨年度の講義を視聴していただきますが、講習会の目的の1つでもある「顔の見える関係づくり」の為、グループワークを企画しています。昨年度に参加した方も申し込み可能です。是非多くの方の参加をお待ちしております。

対象

埼玉県で医療的ケア児（重心児）を支援している看護職・リハ職・介護職（相談支援専門員含む）・保育職（児童発達支援員含む）など

内容

別紙プログラム参照



参加費
無料

方法

内容によって3パターンあり

1. オンライン講義：好きな講義動画を視聴（11月中旬～1月中旬）
2. 集合研修：災害対策をテーマにしたグループワーク（12月）
（ZOOMになる可能性あり。スマホ以外のデバイスが望ましい）
3. 小児リハプログラム：リハビリ講義に関する質疑及びグループワーク（1月）（ZOOMミーティングにて。スマホ以外のデバイスが望ましい）

定員

1. 講義 定員なし
2. 集合研修 30名（看護10名、リハ10名、介護・保育10名程度）
3. 小児リハプログラム 100名

申込

右記のQRコード
下記及びホームページのURL
<https://forms.gle/t7CHUVm5LM3Ur3zN6>
締め切り：11月7日（日）16時



【注意点】

- ① 埼玉県の事業で行ってるため、視聴者数等を県に報告しなければなりません。視聴者の実数は視聴後アンケートからしか把握できませんので、**必ず視聴後アンケートを御記入ください。**
- ② 動画の録画・スクリーンショット保存及び講義資料の転載は固く禁じます。
- ③ スマホで視聴される方は講義の文字が小さくて見えにくい場合があります。
- ④ 音声ボリュームはお使いのデバイスで調整してください。
聞き取りにくい場合はイヤホンを使うと改善することがあります。
- ⑤ 医療用語の解説はいたしません。一時停止や巻き戻しをしながら解読して下さい。
ご質問は視聴後アンケートにお書き下さい。

講習会担当

埼玉医科大学総合医療センター 小児診療看護師 小泉恵子

問い合わせ先：pedzaitaku+2021@gmail.com

049-228-3550（小児科医局事務室）

2021年度 医療的ケア児（重心児）の在宅支援者向け講習会 プログラム（予定）

1. 視聴（1講義30分～60分）

11月中旬から順次クラウドに挙げていく。好きな時間に分割しながら視聴可能。
内容は昨年度の講習会と同じ。

テーマ	講師
【内容修正】小児在宅医療の現状	埼玉医科大学総合医療センター 小児科医師
身体障害者手帳と小慢受給者証	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師
けいれん時の対応	埼玉医科大学総合医療センター小児科医師
重症心身障害児・者について	あおぞら診療所ほっこり仙台 医師
経管栄養の基礎知識	北九州市立総合療育センター西部分所 医師
摂食・嚥下のケア	言語聴覚士
胃瘻について	埼玉医科大学総合医療センター 小児外科医師
気管切開について	埼玉医科大学総合医療センター耳鼻科医師
感染予防の基礎知識と個人防護具の着脱	埼玉医科大学総合医療センター小児診療看護師
【新】クイズで学ぶ感染症予防	埼玉医科大学総合医療センター 小児科医師
プレイリーダーによる在宅療養の子どもへの遊び支援	NPO法人難病の子ども支援全国ネットワーク
重症心身障害児入所施設での日常生活援助と工夫	保育士
NPO法人mamacareの活動と支援者へのお願い	NPO法人mamacare代表
【新】小児リハビリプログラム（運動発達・姿勢とポジショニング・補助具と日常生活用具・OTの取り組み・実技動画）	病院及び施設のPT、訪問リハ（PT・OT）
【新】医ケア児受け入れ保育園の取り組み	埼玉県内保育園の一施設

2. 集合研修（予定）

内容：各事業所で行っている災害対策の共有と検討

日時：12月の土曜日 場所：埼玉医科大学総合医療センター

定員：30名（ワクチン2回接種済み）、参加職種を調整する

方法：講義・グループワーク

* ZOOMに変更する可能性あり

3. ZOOMミーティング（当日参加）

内容：小児リハビリプログラムの解説及び質疑応答（参加前に動画視聴が必要）
グループワーク「連携について（仮）」

日時：1月23日（日）もしくは1月30日（日）のどちらか

方法：講義・グループワーク